

とんぼりニュース

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人：上山 勝也

2017年
12月号
Vol.146

2017年 11月28日
発行

JTB西日本と「エリアマネジメント分野の連携に関する協定」を締結しました。



▲ JTB西日本代表取締役社長・光山清秀氏とがっちり握手する上山勝也会長。



▲ Gottaのたこ焼き乃丞も参加して記念撮影。

道頓堀商店会は、100年後も賑わい続けるためのまちづくりプラン「道頓堀500」を2015年に制定しました。その主要なコンセプト「エンターテイメントのまち・道頓堀」を元に賑わいづくりの事業を進めています。

一方、JTB西日本様には、道頓堀の「食とエンターテイメント」を新しい観光の視点から見直し、道頓堀エリアのブランド価値向上のためのさまざまな事業提案をしていただいております。これは当商店会の方針と合致するもので、このたび、同社と連携協定を締結することになり、10月26日、締結式と記者発表を行いました。

道頓堀ZAZAは、劇場プランとともにノンバーバル（非言語）の「フードミュージカルGotta」を提案していただいております。国内外のお客様が昼夜ともに楽しめる新たな観光コンテンツであり、商店会としましても、全面的に応援していくと考えています。

具体的な観光商品としては、
①「道頓堀お笑いLIVE(ZAZAと角座) 観覧券」の提供、
②道頓堀エンタメ満喫クーポン



▲ 客引きの現状について説明する大阪市の椿さん。



▲ AEDについて身振り手振りで説明する中央消防署の藤本さん。



▲ 段副会長の発声で乾杯、おいしい焼肉に舌鼓を打ちました。

オーナー部会を開催

今年度第2回目のオーナー部会を11月7日、「道頓堀みつる」で開催、29名が参加しました。まず、大阪府市民局地域安全担当課長代理の椿卓也さんから、今なお絶えない悪質な客引き行為の実態とその対策について説明を受けました。指導員配置直後はかなり減少したものの、最近はまだ増え出していること、立入調査や店舗名公表などの取り締り強化をしていることなどの報告がありました。

続いて、中央消防署救急救命士の藤本聖佳さんから、AED（自動体外式除細動器）の役割とその使い方について、自らの体験談やエピソードを取り混ぜて、楽しく説明していただきました。知っているようで知らない、AEDについての新たな知識をいっぱい教えていただきました。

その後、コンロを囲んでおいしい焼肉を満喫しました。そしてオーナー部会恒例の1分間コメントを順番に披露しながら、和気あいあいとした雰囲気の中で懇談が進みました。

「親睦ボウリング大会」開催される。

店長さん同士のコミュニケーションを図る催しとして、11月16日(木)、道頓堀ドラゴンボウルで「親睦ボウリング大会」が行われました。24名の参加があり、5チームに分け、個人賞とチーム賞を競いました。熱戦の末、優勝者は「申かつたるま」の岩城隆進さん、ブービー賞は「はり重」の藤本稔さんなどの各賞と全員に豪華?参加賞もあり、笑顔のうちに幕を閉じました。「楽しかった」と言う意見も多く、年に一回程度、今後も続けていきたいと思っております。また、今後の店長会への参加もよろしく願います。



▲ ボウリングが終わって全員そろって記念撮影。

12・1月の興行ご案内

国立文楽劇場

初春文楽公演

八代目竹本綱太夫 五十回忌追善
豊竹咲甫太夫改め 六代目竹本織太夫 襲名披露

2面のインタビューにご登場いただいた豊竹咲甫太夫さんが竹本織太夫襲名狂言としてご出演されるのは「撰州合邦辻」。竹本綱太夫にゆかりの深い作品です。

先妻の子俊徳丸に不義を仕掛ける継母・玉手御前の愛。玉手御前の親合邦夫妻の子を思う気持ち。どの人物に思い入れ入るかも違った魅力を感じられます。

2018年1月3日(水)〜25日(木)
第1部：11時開演

花鏡四季寿・平家女護島・口上
・追善/襲名披露 狂言 撰州合邦辻
第2部：16時開演

・南都二月堂良弁杉由來・傾城恋飛脚
料金：等席6000円 二等席2400円
12月3日(日) 電話・インターネット予約開始
12月4日(月) 窓口販売開始
お問合せ：
国立劇場チケットセンター 0570-010719900



大阪松竹座

坂東玉三郎 初春特別舞踊公演

「お年賀口上
二、元禄花見踊
三、秋の色種
四、鶯娘
五、傾城



1月2日(火)〜26日(金) 14時
※5日(金)、12日(金)、19日(金)は18時、4日(木)貸切11日(木)休演
出演：坂東玉三郎 中村孝太郎
料金：一等席18000円 二等席10000円
三等席7000円
お問合せ：チケットホン松竹 0570-010001489

法善寺寄席

12月19日(火)
15時〜【一部】彩り演芸席〜師走の席〜
出演：三吉美ユル(親娘漫才) 桂春雨(落語)
地獄の遺伝子(漫才) ラッキー舞(太神楽曲芸)
料金：前売2000円 当日2500円
19時〜【二部】地獄の遺伝子歳末謝恩会〜メカラウロコナナ〜
出演：地獄の遺伝子 ひこき雲 ミスターおおさかかし
料金：前売2000円 当日2500円
お問合せ：関西演芸協会 06-6622-7848(留守番電話にお入れください)



道頓堀ZAZA

満員劇場御礼座

「事情があります」

どこにでもいそうな人々の、6つの事情の物語。短編オムニバスでお送りします。

12月7日(木) 開場 18時30分 開演 19時
12月8日(金) 開場 13時30分 開演 14時
12月9日(土) 開場 13時30分 開演 14時
12月10日(日) 開場 13時30分 開演 14時
料金：前売3500円 当日3800円
出演：ライス大 桂雲香 朝潮てんぶん 淀川フヨージハイ 堂島サバ吉 あべの金欠 にこたまBBQ 高槻アジ郎 目黒カンパチ 緑ファンタ 天王寺春雨 舞子わかめ 藤白アル子 楠葉フリン 浜マーボー

ゲスト出演：高瀬和彦(パパロワーズ)
お問合せ：
メール：info@manageki.com
電話：06-6280-0425(姫野)
06-686-1666(佐藤)



道頓堀SUPER歌謡劇場

心に響く!! 昭和の流行歌

12月19日(火)13時〜16時30分
(各公演で部歌内容が変わる場合があります)
出演：中村泰士(プロデュース)
おおい大輔 エンジ
生駒尚子 渡辺要 モンブラン
料金：2500円
お問合せ：090-1158816590
(道頓堀SCPTV歌謡劇場実行委員会)



2017年 12月の行事予定

- 8(金) 四商店会合同ハトル(予定) 17:00〜 戎橋交番前
- 14(木) 防犯防災警戒夜回り 19:00〜 はり重前
- 15(金) 12月度定例会 17:00〜 事務局
- 16(土) 防犯防災警戒夜回り 19:00〜 はり重前
- 19(火) とんぼりパーウォーク賑わい創出連絡会 10:00〜 スポタカ
- 22(金) 四商店会合同ハトル(予定) 17:00〜 戎橋交番前
- 24(日) 四商店街代表者会議 17:00〜

時の人・インタビュ

人形浄瑠璃を通して

ミナミの街づくりとご臈貞に。

180cmの長身から繰り出される響きの大きな語り。確かな実力と人前で文楽のプリンスと呼ばれる咲甫太夫さん。初春文楽公演ではよいよ六代目竹本織太夫を襲名されます。自らをミナミの子という咲甫太夫さんは奥様とのデートも道頓堀だったそう。愛する文楽と街についてお話を伺いました。

(聞き手：中田真弥子)



プロフィール

豊竹咲甫太夫 (とよたけさきはだゆう)

1975年(昭和50年)大阪生まれ。人形浄瑠璃文楽座・太夫。文楽三味線の二世鶴澤清治を祖父に、人間国宝鶴澤清治を伯父に持つ文楽の家の生まれ。祖父の三味線で語っていた四代目竹本津太夫に憧れ太夫を志す。8歳で豊竹咲太夫に入門、豊竹咲甫太夫を名乗る。文楽の舞台のほか、NHK「にほんごであそぼ」出演でも知られる。奥様はポップオペラ歌手の増田いずみさん。襲名で目の回るような日々を過ごす、落ち着いたら「二人の息子と遊んであげたい」。

「初歩的な質問になってしまうのですが、襲名では苗字も豊竹から竹本に変わられるのですか。」

「不思議に思われる方も多いでしょうね。浄瑠璃は発声期から竹本と豊竹の二派がありました。」

1684年竹本義太夫が人形浄瑠璃を起し、道頓堀の今のフォーエバー21の場所に建てたのが「竹本座」。質実剛健な「西風」と言われる芸風です。「方」豊竹座は、現在のウインズのあたりに始まりました。竹田座、弁天座、と名前を変え、最近まであった朝日座が文楽の小屋で華やかな芸風で「東風」と言われていました。

私は現在豊竹ですが、師匠の父である八代目竹本綱太夫の前名である織太夫を襲名します。

文楽は家柄で世襲されるのではなく、芸の実力で望まれて名を受け継いでいくもの。苗字が変わるといっのは例えるなら料理人が他の店から「うちでやってみないか」と声を掛けられるような感じでしょうか。

八代目綱太夫は、「冥途の飛脚」「女殺油地獄(おんなごろいあぶらのじごく)・豊島屋(てしまや)・油店の段」など近松作品を復活した文楽の

中でも功績の大きい方。身が引き締まる想いです。



▲劇場が震える迫力の義太夫節。

「ご実家は吉佐和子さんの小説『糸のモデルにもなった文楽の三味線のお家なのですね。』

実家は昭和10年代まで、約80年間、法善寺で「鶴源」という夫婦羅屋の商いをしていました。戦後は西心齋橋の成屋町に移転し、現在も「鶴澤」という名で割烹をしております。私はそこで生まれ育ちました。



▲2歳のころ。

親族には三味線弾きが多く、最初には三味線をしましたが、私はどうしても義太夫にならなかつた。6歳の

時に弟が生まれ、三味線は弟にやらしてもらおうと考え、自分は太夫がやりたいと頼みました。実は祖父も若いころに義太夫をやりたいと申し出たことがあったそうで、反対はされませんでした。弟の鶴澤清治は素直に三味線の道へ進み、襲名披露の「摂州合邦辻」にも出演します。

8歳で師匠に弟子入りしたのですが、子供の頃から義太夫以外の仕事をしたいと思ったことがないのです。三つの芸が合わさっている人形浄瑠璃ですが、義太夫は演者であり、指揮者のようでもある存在です。



▲小学生時代の咲甫太夫さんと積古。

「高津小学校の『子ども文楽にも携わってほしい』とありますね。」

今の文楽劇場は以前の高津小学校の跡地に建っています。地元との交流のために16年前から始まりました。1年の稽古で6年生の秋に発表



▲晴れ舞台の着付けを手伝う咲甫太夫さん。

それに16年続けてきたということ。この文楽劇場の界限には三味線の楽譜が読めて弾ける人、義太夫節が語れる人、人形が遣える人が潜在的に500人くらいいるということになります。これはちょっと凄いことです。

先日も卒業生の女の子が「先生に義太夫を教えてくださいました」と友達を二人連れて観に来てくれました。ちょっと観てみようかな、という気持ちになってくれることが嬉しいですね。

「文楽と街とが非常にいい関係になっているんですね。道頓堀についてはどのように感じられますか？」

私は大宝小学校(現在は統合されて南小学校)から南中学校です。同級生や友達に道頓堀界隈のお店のオーナーがたくさんいて、みんな応援してくれます。実家も法善寺と縁が深いのでとても愛着があります。

道頓堀のジャズライブの「セント・ジームス」にはよく行きました。オーナーでもある田中武久さんのピアノが大好きで、「会いに行けるジャズピアノスト」ですね(笑) 田中さんが亡くなられ、二年ほど前に閉店してしまつて残念です。

文楽も劇場だけでなく、一歩出れば飲食店があつてお気に入り。の喫茶店があつて、文楽の人にも会えて……ミナミ全体を劇場にして街のご臈貞を作ってあげたいと思います。人形浄瑠璃は334年前に道頓堀で生まれ育てられました。12月2日には文楽には珍しくお練りをさせていただきますが、道頓堀には「帰ってきた」という気持ちです。またこの新しい名を皆さんにも広く知っていただきたいと思います。



▲田中武久さんのCD。

道頓堀街づくり情報

御堂筋チャレンジ

2週間の社会実験

大阪のメインストリート、御堂筋は完成から80周年。

40年前と比べ、自動車交通量は4〜5割の減少、逆に自転車は6〜7倍の増加。そして時代は、「車重視から人重視の道路空間へ」と、大きな変換期を迎えています。昨年整備された難波駅前〜千日前通り東側の歩道・自転車道のモデル区間。その最適な使い方を模索し、将来の道づくりに生かそうとしています。題して「御堂筋チャレンジ」、11月5日〜20日に行われた社会実験をレポートします。

ミナミの街は観光客で大きな賑わいを見せています。一方、混雑やくつろぎの空間の不足など課題もあります。御堂筋東側のモデル区間でも、自転車道を人が歩いたり、歩道を自転車を通ったりと、まだまだうまく利用されていない、安全で快適な道路空間となっていない。

今回の社会実験では、自転車道の幅員を狭めるとともに、歩道ににぎわいや滞在を促す施設を設置したり、この場所が持つ魅力ある憩い空間としての可能性について検証されました。

自転車と歩行者の共存

プランターを設置して自転車道を3mから2mに狭め、歩道との境界線を明確化。広がった歩道にはにぎわいや滞在を促すベンチやテーブルなどを設置しました。



▲境界をわかりやすくすることによって、歩行者にも自転車にもスムーズな通行を促しています。



少しの段差でも大変なベビーカーやスリッパースでの移動の人たちにとって休憩にもちよつと良い空間。海外からの観光客の人がガイドブックを広げる姿も。

オープンカフェ

カフェストリートから英國屋さんのキッチンカーが登場、軽食やドリンクを求めて列ができました。



ライブ

迫力のあるブルースの演奏に観客からは大きな拍手！



シェアサイクル「Hub Charri」の臨時ポートも登場

登録して使うレンタル自転車。返却は別のポートに置いたままでもOKなので、電車と組み合わせると便利に使えます。電動自転車を採用しているのが坂道も楽に登れます。



イルミネーション

冬の風物詩としてすっかり定着した御堂筋のイルミネーション。テーブルの上もLED照明でロマンチックに演出。



御堂筋が完成してから80年の時が経ち、私たちの暮らしや人の流れも大きく変わっています。ミナミ周辺では、インバウンド観光客が急増し、新しい商業施設やホテルがオープンする予定も次々とあります。

「御堂筋チャレンジ」の社会実験は、大阪の道をどう使い、楽しい街をどうつくっていくのかを考えてみる良い機会になったようです。